令和８年度　衆議院海外派遣　報告書概要

令和８年９月１６日

１．団名

衆議院インドネシア共和国及び東ティモール民主共和国における政治経済事情等調査議員団

２．目的

インドネシア共和国及び東ティモール民主共和国における政治経済の重要課題についての議会及び政府要人等との意見交換を通じた関係強化のため

３．派遣議員団

団長	衆議院議員	遠　藤　　敬	（維新）
	同	奥　下　剛　光	（維新）
	同	吉　川　里　奈	（参政）
同行	議事部副部長	近　藤　弘　康	
	議事部議事課課長補佐	中　川　広　保	

４．派遣期間

令和８年９月７日（月）から１１日（金）までの５日間

５．派遣国

インドネシア共和国、東ティモール民主共和国

６．主な活動

（１）東ティモール民主共和国

① 両国間の連携・協力関係を深化するため、ライ国民議会議長及び東ティモール・日本友好議員連盟と両国間の友好・協力関係を中心に日東ティモール関係全般について意見交換を行った。

② ラモス=ホルタ大統領と面会し、当地の現状及び課題、特殊詐欺犯罪対策の連携強化等並びに２０２９年のＡＳＥＡＮ議長国就任を踏まえた今後の両国間の協力・交流について意見交換を行った。

（２）インドネシア共和国

① 両国間の連携・協力関係を深化するため、インドネシア・日本国会議員連盟と両国間の友好・協力関係を中心に日インドネシア関係全般について意見交換を行った。

② ジャカルタジャパンクラブ（日系企業、日本人社会を代表する組織）と、当地における経済及び社会情勢等について意見交換を行った。

③ フェブリアン国家開発企画省副大臣と面会し、新首都（ヌサンタラ）開発の現状及び課題並びに両国間のＯＤＡ事業等について意見交換を行った。

④ 当地において大きな生産能力と販売台数規模を誇るアストラ・ダイハツ・モーターのスンター工場を視察した。

（注）報告書概要は、速報性を重視した概要版として作成・掲載しているものです。詳細な内容については報告書を御参照ください。